

第412回市（入札日 2018年1月26日）

— 東大マカバ、190万円筆頭に高値多数。ナラも高かったが、メジロカバはやや低調 —

出品量は2,944.0m³と目標の3,000m³にほぼ達し、第3展示場にまで桧が並びました。東京大学北海道演習林材が出品される回だけあって、普段はまずお目にかかれないような立派なマカバが何桧も並び、高値で落札されていきました。ナラも、グレードに関わらず高い印象を受けました。他方、メジロカバは買い付けを手控えた買方さんがおられたためか、やや低調でした。また、十勝東部署から天然トドマツ材の出品がありましたが、30cm台後半～40cm台を中心に、中には56cmという玉まで含まれていたものの、落札単価は14,000～16,000円にとどまり、寂しい結果となりました。カラマツやエゾマツ（アカ・クロ）に比べ、トドマツには値が付きにくいかもしれません。

次回（第413回）は2月23日（金）です。

○出品数量

官材・単 桧	346.7m ³	419桧	933本
官材・ロット	163.8m ³	23桧	1,067本
民材・単 桧	2,009.6m ³	2,563桧	6,430本
民材・ロット	423.9m ³	57桧	2,996本
計	2,944.0m ³	3,062桧	11,426本

（樹種別）

タモ265.3m³・733本、マカバ94.4m³・217本、セン259.3m³・654本、ナラ874.8m³・3,484本、ニレ62.7m³・165本、キハダ15.2m³・64本、クルミ40.7m³・213本、アサダ15.6m³・69本、ホホ39.6m³・205本、エンジュ13.3m³・136本、カツラ46.2m³・109本、ザツカバ77.2m³・268本、シュリ9.0m³・45本、イタヤ96.9m³・442本、サクラ40.7m³・161本、シナ166.4m³・679本、メジロカバ670.8m³・3,301本、ウォールナット41.3m³・27本、アオダモ5.9m³・32本、その他62.0m³・286本（広葉樹計2,897.3m³・11,290本）、イチイ6.4m³・67本、アカエゾマツ1.8m³・2本、クロエゾマツ1.8m³・2本、トドマツ36.6m³・65本（針葉樹計46.6m³・136本）

○販売数量 2,854.4m³（元落ち率3.1%）

○販売金額 1億6,611万円（1m³あたり平均58,193円（前回52,146円））

○主要樹種の平均単価（1m³あたり、カッコ内は前回）

タモ	72,691円（68,060円）	キハダ	44,226円（28,160円）
マカバ	269,070円（53,784円）	カツラ	32,183円（52,406円）
セン	74,687円（63,699円）	ザツカバ	35,806円（42,248円）
ナラ	65,748円（56,913円）	メジロカバ	50,900円（56,878円）
ニレ	23,846円（38,610円）		

○高値（1m³あたり、外材のみの樹種およびイチイ・エンジュを除く。）

- ①1,900,000円（マカバ 4.2m、38cm、1本、0.606m³、官材（東京大学））
- ②1,719,900円（マカバ 4.2m、54cm、1本、1.225m³、〃（〃））
- ③1,600,000円（マカバ 4.2m、44cm、1本、0.813m³、〃（〃））

2018年2月13日作成（嶋瀬）